

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

1. 様式6号：JAS 構造材個別実証支援事業助成金交付申請書

様式6号

令和 3 年 8 月 31 日

J A S 構造材個別実証支援事業助成金交付申請書

一般社団法人全国木材組合連合会  
会長 鈴木 和雄 殿

宣言事業者No. ●●●●  
会社名 JAS構造材建設株式会社  
住所 東京都千代田区永田町2-4-3永田町ビル6F  
代表者役職名・氏名 代表取締役社長 製材 太郎

当社は、下記物件について必要資料を添えて助成金の交付を申請します。

1. 物件の概要

事業番号	J3●●-●●
1. 物件の名称	全木連事務所 新築工事
2. 物件の所在地	東京都●●区●●町●●-●●
3. 事業担当者の所属・氏名	JAS構造材建設株式会社 建設部 梓組 次郎
4. 事業担当者の連絡先	〒 100-0014 住所：東京都千代田区永田町2-4-3永田町ビル4F Tel: 03-●●-●●●● Fax: 03-●●-●●●● E-mail: JAS@●●.jp
5. 共同申請者の有無 (印)	※「あり」の場合、「様式6号(共同申請)」に必要事項を記載し提出 <input type="checkbox"/> あり

2. 付属資料

別紙1のとおり

3. 助成金の額

別紙2のとおり

赤字・赤丸 : 記入例を示す。

青字・青丸 : 注意事項やポイントの解説部分を示す。

・提出の締め切り日は下記の①、②のいずれか早い日程となりますので、ご注意ください。

- ① 助成対象木材の建て方終了後の1か月後まで
- ② 一次募集の場合は令和3年8月31日、二次募集の場合は11月30日

・社判、代表者印は省略できます。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

1. 様式6号 別紙1

別紙1

**J A S 構造材個別実証支援事業助成金交付申請書付属資料**

1. 事業番号	J3●●-●●		
2. 事業者名	JAS構造材建設株式会社		
3. 物件名	全木連事務所 新築工事		
4. 建築確認申請の物件の用途	申請	用途番号: 08470	用途: 事務所
	実績	用途番号: 08470	用途: 事務所
5. 物件の階数	申請	地上 2 階	地下 0 階
	実績	地上 2 階	地下 0 階
6. 延べ床面積	申請	建築確認申請の延べ床面積	366.37 m <sup>2</sup>
	実績	建築確認申請の延べ床面積	366.37 m <sup>2</sup>
7. JAS構造材の種類	※指定する構造部に使用するJAS構造材のすべての品目に☑を入れる。		
① 機械等級区分構造用製材	申請	<input checked="" type="checkbox"/>	実績 <input checked="" type="checkbox"/>
② 枠組壁工法構造用製材 (枠組壁工法構造用たて継ぎ材を含む)	申請	<input type="checkbox"/>	実績 <input type="checkbox"/>
③ 構造用集成材 (中断面以上のものに限る)	申請	<input type="checkbox"/>	実績 <input type="checkbox"/>
④ 構造用単板積層材 (LVL)	申請	<input type="checkbox"/>	実績 <input type="checkbox"/>
⑤ 直交集成板 (CLT)	申請	<input checked="" type="checkbox"/>	実績 <input checked="" type="checkbox"/>
8. 助成対象木材の建て方完了月	申請	令和 3 年 8 月 ( <input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 ) 旬	
	実績	令和 3 年 9 月 ( <input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 ) 旬	

**【助成対象の木材】**

**1. 木材使用量** 単位: m<sup>3</sup> (小数点以下切り捨て整数止め)

区 分		総 量	うち国産材
物件に使用する全ての木材の総量 *1	申請	103 m <sup>3</sup>	90 m <sup>3</sup>
	実績	103 m <sup>3</sup>	89 m <sup>3</sup>
うち林産物JAS使用量 *2	申請	75 m <sup>3</sup>	68 m <sup>3</sup>
	実績	90 m <sup>3</sup>	68 m <sup>3</sup>

\*1 申請物件に係るすべての木材使用量 (ただし、パーティクルボード、繊維板を除く。) を記入。  
\*2 申請物件に係るすべてのJAS格付けのある木材の使用量を記入。

※記載事項は、建築確認申請書の内容と齟齬がないかを確認してください。

・下記の建築物は助成対象外となります。

- ① 宗教施設、②個室付浴場業等②、③3階以下の居住専用の戸建て住宅、④店舗付き住宅や事務所を兼用した住宅は助成対象外となります。

・対象物件は建築主が国以外の対象床面積 10m<sup>2</sup>を超える新築増改築です (詳細は公募要領第6を参照)。

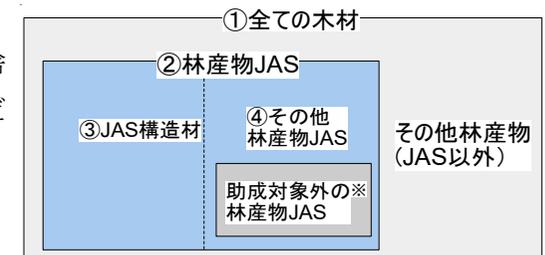
助成対象木材の建て方完了日は、下記日程までに完了していなければいけません。

一次募集の場合は令和3年8月31日

二次募集の場合は令和3年11月30日

・物件に使用するすべての木材の総量は①、林産物JAS使用量は②に分類されます。

・数値は小数点以下切り捨て整数止めでご記入ください。



※上限材積を超えた分のその他林産物JASや非構造部材にしか使用しないJAS材が該当します。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

1. 様式6号 別紙1

助成対象木材の明細

2. 助成対象となる階ごとのJAS構造材使用量及びその他林産物JASの上限材積\* 単位:m<sup>3</sup> (小数点以下5位切り捨て)

区分	助成対象となる階							JAS構造材の使用量の合計	JAS構造材のうち 国産材使用量	
	1階	2階	3階	4階	5階	6階	その他の階			
事業申請	構造用製材 (機械等級)	0.6449	0.7938	0.4961				1.9348	1.9348	
	構造用製材 (目視等級)	0.1984	0.1984	0.1984				0.5952	0.5952	
	2×4 構造用製材									
	直交集成板 (CLT)	9.7200	25.5813	27.4612				62.7625	62.7563	
	構造用集成材 (中断面以上)									
	構造用LVL									
JAS構造材使用量計		10.5633	26.5735	28.1557				65.2925	65.2863	
その他林産物JAS助成の 上限材積									上限材積	65.2925
実績	構造用製材 (機械等級)	0.5643	0.7938	0.4961				1.8542	1.8542	
	構造用製材 (目視等級)	0.1984	0.1984	0.1984				0.5952	0.5952	
	2×4 構造用製材									
	直交集成板 (CLT)	9.7200	25.5813	27.4612				62.7625	62.7625	
	構造用集成材 (中断面以上)									
	構造用LVL									
JAS構造材使用量計		10.4827	26.5735	28.1557				65.2119	65.2119	
その他林産物JAS助成の 上限材積									上限材積	65.2119

\* JAS構造材を指定する構造部に使用する階が助成対象

- ・グレーのセルはエクセルの自動計算になっておりますので、白いセルのみご記入ください。
- ・「5. 調達費算定表」の合計材積と整合しているか確認してください。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

1. 様式6号 別紙1

助成対象木材の詳細					
3. その他林産物 J A S 内訳					
J A S 規格の区分	その他林産物 J A S の品目	事業申請		実 績	
		使用量	うち国産材	使用量	うち国産材
製 材	<input checked="" type="checkbox"/> 目視等級区分構造用製材 (グリーン材)	0.6615 m <sup>3</sup>	0.6615 m <sup>3</sup>	0.6615 m <sup>3</sup>	0.6615 m <sup>3</sup>
	<input type="checkbox"/> 造作用製材	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	<input type="checkbox"/> 下地用製材	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	<input type="checkbox"/> その他	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	<input type="checkbox"/> 機械等級区分構造用製材※	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
枠組壁工法構造用製材 (たて継ぎ材を含む)※	<input type="checkbox"/> 目視等級区分構造用製材※	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	<input type="checkbox"/> 枠組壁工法構造用製材※ (たて継ぎ材を含む)	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
集 成 材	<input type="checkbox"/> 造作用集成材	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	<input checked="" type="checkbox"/> 構造用集成材 (小断面)	5.8245 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	6.8680 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
直交集成板 (CLT)	<input type="checkbox"/> 構造用集成材 (中断面以上) ※	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	<input type="checkbox"/> 直交集成板 (CLT) ※	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
単板積層材 (LVL)	<input type="checkbox"/> 造作用LVL	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	<input type="checkbox"/> 構造用LVL※	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
構造用パネル (OSB)	<input type="checkbox"/> 構造用パネル (OSB)	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
合 板	<input checked="" type="checkbox"/> 構造用合板	3.5773 m <sup>3</sup>	3.5773 m <sup>3</sup>	3.5773 m <sup>3</sup>	3.5773 m <sup>3</sup>
	<input type="checkbox"/> 普通合板	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	<input type="checkbox"/> その他 ( )	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
フローリング	<input type="checkbox"/> フローリング	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
その他 ( )	<input type="checkbox"/>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
その他林産物 J A S 使用量の合計 (a)		10.0633 m <sup>3</sup>		11.1068 m <sup>3</sup>	
その他林産物 J A S の上限材積 (b) (表2から算出された上限の量)		65.2925 m <sup>3</sup>		65.2119 m <sup>3</sup>	
助成対象となるその他林産物 J A S の材積 (a) 又は (b) の少ない方の数量		10.0633 m <sup>3</sup>		11.1068 m <sup>3</sup>	

※ JAS 構造材に該当する品目の部材の全量が構造部以外の用途に使用される場合、その品目の部材は「その他林産物 J A S」に計上する。

・オレンジのセルは JAS 構造材の品目において、一切構造部に使用しない場合のみその他林産物 JAS に計上することになっておりますのでご注意ください。よって、前ページの「2. 助成対象となる階ごとの～」と重複しません。

・グレーのセルはエクセルの自動計算になっておりますので、白いセルのみご記入ください。

・「5. 調達費算定表」の合計材積と整合しているか確認してください。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

1. 様式6号 共同申請

様式6号 (共同申請)	
共同申請者 連携① 宣言事業者No. 9998 事業者名 株式会社JAS設計事務所 代表者職名・氏名 代表取締役社長 直交 三郎	共同申請者 連携② 宣言事業者No. 9997 事業者名 株式会社 全木プレカット 代表者職名・氏名 代表取締役社長 積層 板四郎
共同申請者 連携③ 宣言事業者No. 事業者名 代表者職名・氏名	共同申請者 連携④ 宣言事業者No. 事業者名 代表者職名・氏名
共同申請者 連携⑤ 宣言事業者No. 事業者名 代表者職名・氏名	共同申請者 連携⑥ 宣言事業者No. 事業者名 代表者職名・氏名

・共同申請を行う場合には社名等の他、押印が必要となります。  
・本年度事業において3件以上申請する場合には、山元の素材生産事業者等と安定供給などの協定の締結したJAS 構造材生産施設を有する宣言事業者との共同申請が必要となります。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

2. 様式6号別紙2 交付申請額

別紙2 交付申請額

網掛けのセルは自動計算されますので太線枠内のみ事業申請時と実績による調達費算定表から転記ください。

1. 事業申請時のJAS構造材の使用材積に単価を乗じた金額

(単位: 材積は、小数点以下5位切り捨て)

区分	JAS構造材の単価による算出		金額 *2
	材積*1 m <sup>3</sup>	単価 円 / m <sup>3</sup>	
JAS構造材 CLT以外	①機械等級区分構造用製材	1.9348	96,740
	②目視等級区分構造用製材 (乾燥材)	0.5952	29,760
	③2×4工法構造用製材		50,000
	④構造用集成材(中断面以上のもの)		
	⑤構造用単板積層材(LVL)		
	小計(1)	2.5300	126,500
⑥直交集成板(CLT)(2)	62.7562	140,000	8,785,868
⑦助成対象となるその他林産物JAS木材の調達費*2の1/2(3)			799,818
CLT以外の合計(1)+(3)の材積按分			157,495
CLTの合計(2)+(3)の材積按分			9,554,691

\*1 別紙1-2表上段「事業申請」欄のJAS構造材の使用量の合計をJAS構造材の種類ごとに転記する。

\*2 「事業申請時」に算出した助成対象となる「その他林産物JAS」の材積に係る調達費の見積額を記載する。

2. JAS構造材の実際の使用材積(実績)に単価を乗じた金額

(単位: 材積は、小数点以下5位切り捨て)

区分	JAS構造材の単価による算出		金額
	材積 m <sup>3</sup>	単価 円 / m <sup>3</sup>	
JAS構造材 CLT以外	①機械等級区分構造用製材	1.8542	92,710
	②目視等級区分構造用製材 (乾燥材)	0.5952	29,760
	③2×4工法構造用製材		50,000
	④構造用集成材(中断面以上のもの)		
	⑤構造用単板積層材(LVL)		
	小計(1)	2.4494	122,470
⑥直交集成板(CLT)(2)	62.7625	140,000	8,786,750
⑦助成対象となるその他林産物JAS木材の調達費*2の1/2(3)			799,818
CLT以外の合計(1)+(3)の材積按分			152,512
CLTの合計(2)+(3)の材積按分			9,556,526

\*1 別紙1-2表下段「実績」欄のJAS構造材の使用量の合計をJAS構造材の種類ごとに転記する。

\*2 別紙1-3表により算出された助成対象となるその他林産物の材積に係る調達費

・グレーのセルはエクセルの自動計算になっておりますので、白いセルのみご記入ください。

・「事業申請時の調達費算定表」の「事業申請出力結果」に記載されたJAS構造材の材積と、その他林産物JASの調達費(値引き按分後)の1/2の値を転記してください。

・「JAS構造材の実際の使用材積に単価を乗じた金額」は「調達費算定表」の「交付申請出力結果」から、材積を転記します。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

2. 様式6号別紙2 交付申請額

**3. 調達費**  
別紙1-2の実績に計上したJAS構造材の区分ごとの調達費と別紙1-3に計上した助成対象となる其他林産物JASの材積分に係る調達費の1/2の額

単位：円

区 分	助成対象木材の調達費				合計 (a) + (b) + © - (d)	
	調達費の内訳					
	木材代 (a)	加工費 (b)	運搬費 (c)	値引き (d)		
J A S 構 造 材 以 外	①機械等級区分構造用製材	193,489	96,037	11,332	2,237	298,621
	②目視等級区分構造用製材 (乾燥材)	53,582	30,828	3,638	655	87,393
	③2×4 工法構造用製材					
	④構造用集成材 (中断面以上 のもの)					
	⑤構造用単板積層材 (LVL)					
	小 計 (1)	247,071	126,865	14,970	2,892	386,014
⑥直交集成板 (CLT) (2)	3,619,210	1,250,000	383,581		5,252,791	
⑦助成対象となる其他林産物JAS木材 の調達費	1,153,747	389,987	67,881	11,980	1,599,635	
⑧其他林産物JAS木材の調達費の1/ 2 (3)					799,818	
CLT以外の合計 (1) + (3) の材積按分					416,056	
CLTの合計 (2) + (3) の材積按分					6,022,567	

調達費算定表の「交付申請出力結果」シートの「調達費内訳」から移記する。  
値引き額は、正の値 (- (マイナス) を付けない) で入力してください

※ 上記のCLT以外 ((1) + (3))とCLT ((2) + (3))について、それぞれの1、2、3の表の合計額を比較し、最も低い額を足し合わせた額

算定額 (消費税抜き) 6,175,000 円 (千円未満切り捨て)

※助成の上限額は 15,000,000 円です。  
ただし、延べ面積が1,000㎡以上または助成対象となる階の数が4 以上の場合は、上限額は 30,000,000 円となります。

交付申請額 (消費税抜き)
<b>6,175,000</b> 円
※1,000円未満切り捨て

・グレーのセルはExcelの自動計算になっておりますので、白いセルのみご記入ください。

・「調達費」は「調達費算定表」の「交付申請出力結果」から、調達費を転記します。

・上記の「算定額 (消費税抜き)」と「助成の上限額」を比較し、小さいほうの数値を「交付申請額 (消費税抜き)」に記載します。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
 3. 様式6号-2(共通) JAS 構造材個別実証支援事業報告書

様式6号-2(共通)  
 JAS 構造材個別実証支援事業報告書

※連携により申請した場合は、上記項目について連携者の意見も記載して下さい。

①施主に対して説明を行いましたか?  Yes / No【(選択する)  
 →Yesを選択された方は、どのような説明を行ったかを具体的に記入して下さい。  
 施主に対しては、●●であるため、●●であることをお伝えしました。

・品質面、価格面で施主の反応・評価について具体的に記入して下さい。  
 品質面については、●●という評価をいただきました。  
 価格面では、●●という評価をいただきました。

→Noを選択された方は、・なぜ説明を行わなかったかを具体的に記入して下さい。

②助成事業を申請するにあたり、構造は変更しましたか? (選択する)  
 (構造に変更がない方は変更前、変更後同じ構造を選択してください。)

変更前: 木造軸組工法、2×4工法、CLTパネル工法、 鉄骨造、RC造、その他 ( )  
 ↓  
 変更後:  木造軸組工法、2×4工法、CLTパネル工法、鉄骨造、RC造、その他 ( )

③JAS 構造材を利用したことでメリットがありましたか?  Yes / No【(選択する)  
 →Yesを選択された方はどのような点でメリットがあったかを具体的に記入して下さい。  
 JAS 構造材の機械等級区分製材を利用したことで●●面にメリットがありました。  
 具体的には●●●です。

・施主に本事業をお奨めするにあたって、どのように説明を行ったかをご記入ください。設計者等が説明を行っている場合は、設計者等に内容をお尋ねの上、ご記入ください。

・本事業をきっかけに JAS 材を使った木造へ変更した場合は、その内容をご記入ください。計画当初から構造計画に参画しておらず、確認できない場合は、施主や設計者等にご確認ください。

・助成事業を利用したことによるメリットではなく、JAS 構造材自体を利用したことによるメリットをご記入ください。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

3. 様式6号-2(共通) JAS 構造材個別実証支援事業報告書

④ JAS 構造材を利用したことでデメリットがありましたか？  
 →Yes を選択された方はどのような点でデメリットがあったか具体的に記入して下さい。  
 (Yes / No) (選択する)  
 JAS 構造材の機械等級区分製材を利用したことで●●面にデメリットがありました。具体的には●●です。

⑤ 構造設計をする上で JAS 構造材を利用した事によるメリットがありましたか？  
 →Yes を選択された方は、どのような点でメリットがあったか具体的に記入して下さい。  
 (Yes / No) (選択する)  
 JAS 構造材の機械等級区分製材を利用したことで●●面にメリットがありました。具体的には●●です。

⑥ 構造設計をする上で JAS 構造材を利用した事によるデメリットがありましたか？  
 →Yes を選択された方はどのような点でデメリットがあったか具体的に記入して下さい。  
 (Yes / No) (選択する)  
 JAS 構造材の機械等級区分製材を利用したことで●●面にデメリットがありました。具体的には●●です。

⑦ 今後の JAS 構造材への希望や期待を具体的に記入して下さい。  
 今後、JAS 構造材の●●が●●となることを期待します。

⑧ 施工中における JAS 構造材について普及の取り組みを具体的に記入して下さい。  
 施工中において●●の取り組みを行いました。

⑨ 他の助成事業と併用しましたか？ 【Yes / No】 (選択する)  
 →Yes を選択された方はどの助成事業と併用したか具体的に記入して下さい。

助成元 (国市町村)	事業名	金額 (円)
●●	●●助成金事業	●●

・助成事業を利用したことによるデメリットではなく、JAS 構造材自体を利用したことによるデメリットをご記入ください。

・構造設計者等にお尋ねの上、ご記入ください。  
 ・助成事業を利用したことによるメリット (デメリット) ではなく、JAS 構造材自体を利用したことによるメリット (デメリット) をご記入ください。

・助成事業ではなく、建築材料としての JAS 構造材への希望や期待についてご記入ください。

・木工事に関する助成事業について、国が補助する事業を重複して受けることはできないのでご注意ください。県や市町村の事業であっても地方交付税などを財源としている場合もございますので、助成元にご確認ください(森林環境譲与税を除く)。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

3. 様式6号-2-① (機械等級構造用製材ほか) JAS 構造材個別実証支援事業報告書

様式6号-2-① (機械等級構造用製材ほか)

① JAS 機械等級構造用製材 / 目視等級区分構造用製材 / 2×4 工法構造用製材 / 構造用集成材 (中断面以上) / 構造用 LVL を利用するにあたり、供給業者を探すのに苦労しましたか？

【とても苦労した / やや苦労した / どちらともいえない / あまり苦労しなかった / 苦労しなかった】 (選択する)

・どのように業者を見つけましたか？

【既存取引先 / 取引先からの紹介 / 本事業のホームページ / その他インターネット / その他】

→その他を選択した方は、具体的に記載して下さい。

② JAS 材とノン JAS 材を比較した場合、価格は次のうちどれに該当しますか？

JAS 材が、【高い / 変わらない / 低い / 比較していない】 (選択する)

→比較していないを選択した方は、なぜ比較しなかったのですか？

③ JAS 材とノン JAS 材を比較した場合、納期は次のうちどれに該当しますか？

JAS 材が、【長い / 変わらない / 短い / 比較していない】 (選択する)

→比較していないを選択した方は、なぜ比較しなかったのですか？

→長い / 短いを選択した方は、何日ほど納期に差がありましたか？

6 日

④ 今後、他の物件で機械等級構造用製材または目視等級区分構造用製材を利用しますか？

【とても利用したい / やや利用したい / どちらともいえない / あまり利用したくない / 利用したくない】 (選択する)

・それはなぜですか？選択した理由を具体的に記入してください。

●●のため。

- ・ CLT 以外の JAS 構造材を使用した場合に記入が必要となります。
- ・ 該当する JAS 構造材を○で囲んでください。

- ・ どれを選択した場合でも、理由をご記入ください。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

3. 様式6号-2-② (CLT) -1 JAS 構造材個別実証支援事業報告書

様式6号-2-② (CLT) -1

① なぜCLTを選択したか理由を具体的に記入して下さい。

●●のため。

② 他の構造を検討しましたか？ 在来工法 2×4 / その他 / 検討していない】  
(選択する)

→その他を選択した方は、その他の構造を具体的に記入して下さい。

③ 他の構造選択肢と比較して、CLTが優位となった点は次のうちどれに該当しますか？  
【価格 / 先進性 / 環境面 / 地域貢献 / その他】 (選択する)

→その他を選択した方は、その他の点を具体的に記入して下さい。

・優位となった点の理由を具体的に記入して下さい。  
CLTは●●であるため先進性に優れ、●●という特性があるため環境にも良い。

④他の構造選択肢と比較して、CLTが不利となった点は次のうちどれに該当しますか？  
【価格 / 先進性 / 環境面 / 地域貢献 / その他】 (選択する)

→その他を選択した方は、その他の点を具体的に記入して下さい。

・不利となった点の理由を具体的に記入して下さい。  
●●費や●●費が●●であるため、高い。  
県外でのパネル製造となったため、地域貢献度は低い。

・「●●に薦められたから」等の経緯だけではなく、価格面、環境面、構造安全性面等の理由についてもご記入ください。

・木造軸組構法、木造ラーメン工法、RC造、鉄骨造等の構造種別をお答えください。

・項目は複数選択可能です。  
・その他を選択した場合には具体的な内容を記入してください。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

3. 様式6号-2-② (CLT) -1 JAS 構造材個別実証支援事業報告書

⑤構造設計において苦勞はしましたか？

【とても苦勞した/やや苦勞した/どちらともいえない/あまり苦勞しなかった/苦勞しなかった】(選択する)

→とても苦勞した/やや苦勞した/どちらともいえない/あまり苦勞しなかったを選択した方は、どのような点で苦勞したか具体的に記入して下さい。

構造設計は●●であったため、●●に作業を要した。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

3. 様式6号-2-② (CLT) -2 JAS 構造材個別実証支援事業報告書

様式6号-2-② (CLT) -2

施主の名称	全木連株式会社				
構造の工法(設計ルート)	CLT パネル工法と RC 工法の混構造工法 (設計ルート: ルート3)				
構造別階数(内訳)	4階( 1階 RC 工法+2~4階 CLT パネル工法)				
竣工日(又は竣工予定日)	令和 年 月 日竣工(令和2年12月竣工予定)				
申請者がこれまでに建築した CLT の棟数	当該物件を含め 3棟				
CLT の構造躯体の建方に要した作業者の人工数と日数(基礎施工日数は除く)	30 人工(人・日) 20 日間				
CLT の施工に掛かるクレーン等機械の大きさ別の台数	25t× m 2台 t× m 台				
輸送に要したトラックの種類と延べ台数	14t 車 8台 4t 車 3台				
使用した CLT の製造工場名	●●CLT 工場	(所在地市町村名)	●●県●●市		
使用した CLT のプレカット工場名	●●プレカット工場	(所在地市町村名)	●●県●●市		
代表的な接合金具の製造工場	●●工場	(所在地市町村名)	●●県●●市		
CLT の納品に要した期間 発注先に○	注文から納入まで約 5 週間 発注先: CLT 製造工場、 <u>プレカット工場</u> (それ以外 )				
接合金物の納品に要した期間 (代表的なもの)	既製品の場合: 約 2 週間 特注品の場合: 約 4 週間				
建築物のモジュールに○	910 mm、 <u>1,000 mm</u> 、(それ以外 )				
ラミナの地域材の指定に○	指定なし、 <u>指定有り</u> (地域: ●●県 )				
使用した CLT の規格・数量等 ※単価は、規格別に現地着価格 (CLT+プレカット加工費+運搬費) とする。なお、円/枚又は円/m <sup>2</sup> のどちらかとする。	部材名	単価 (円/枚) ※	樹種	強度等級/構成	代表的な部材寸法と枚数 厚さ×幅×長さ×枚数
	屋根	14.1 万円/枚	スギ	Mx60-3-3/A 種	90×2000×6000×10 枚
	横架材				
	壁材	5.9 万円/枚	スギ	Mx60-3-3/A 種	150×1000×3000×15 枚
	床材	23.4 万円/枚	スギ	Mx60-3-3/A 種	150×2000×6000×10 枚
	その他				

・軸組構法、2×4 工法、CLT パネル工法、RC 造、S 造など工法種別を代表する名称をご記入ください。メーカーの商品名は不可です。

・設計ルートは、壁量計算等、許容応力度設計、ルート1、ルート2、ルート3、限界耐力計算、時刻歴応答解析等の種別をご記入ください。

・ラミナの等級ではなく、CLT 材の等級ですのでご注意ください。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

3. 様式6号-2-② (CLT) -2 JAS 構造材個別実証支援事業報告書

CLT 構造部分に使用した接合金物の価格	1式：●●●円
都市計画による地域区分に○	防火地域、準防火地域、 <u>22条地域</u> 、それ以外
建築物の用途による制限	用途( ) 耐火建築物( 階 m <sup>2</sup> )、準耐火建築物( 階 m <sup>2</sup> )
今後の普及計画	●年までに CLT を使った建築物を●棟程度、建築する予定。

・くぎやビス等の接合具も接合金物に含まれます。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
4. 助成対象に係る木材の領収書又は請求書とその明細書

※請求書の1例を示します。

令和3年4月1日

**請 求 書**

JAS構造材建設株式会社 御中

下記のとおり御請求申し上げます。

株式会社 全木プレカット  
埼玉県●●市●●●●●●  
tel 048-●●●●●●●●●●

物件名: 全木連事務所 新築工事  
支払期限: 令和3年10月末  
振込先: 東京中央銀行 京橋支店 普通●●●●●●●●●●

金額 ￥ 4,180,000 (税抜)

番号	名称	規格、仕様		数量 (枚)	単価 (円/枚)	金額 (円)	材積 (m <sup>3</sup> )	備考
		樹種	種類、等級					
1	柱	ヒノキ	JAS機械等級製材/E90	105 × 105 × 2790	38	※※※	※※※	JAS構造材
2	柱	ヒノキ	JAS機械等級製材/E90	105 × 105 × 2950	9	※※※	※※※	JAS構造材
3	柱	ヒノキ	JAS機械等級製材/E90	105 × 105 × 2950	19	※※※	※※※	JAS構造材
4	柱	ヒノキ	JAS機械等級製材/E90	105 × 105 × 2400	2	※※※	※※※	JAS構造材
5	柱	ヒノキ	JAS目視等級製材/1級SD20	105 × 105 × 2700	18	※※※	※※※	JAS構造材
6	土台	ヒノキ	JAS目視等級製材/1級SD20	105 × 105 × 3050	50	※※※	※※※	JAS構造材
7	梁	スギ	JAS構造用集成材/E70-F225	105 × 210 × 2500	42	※※※	※※※	JAS構造材
8	梁	スギ	JAS構造用集成材/E70-F225	105 × 210 × 4000	65	※※※	※※※	JAS構造材
9	梁	スギ	JAS構造用集成材/E70-F225	105 × 120 × 2500	67	※※※	※※※	その他林産物JAS材
10	梁	スギ	JAS構造用集成材/E70-F225	105 × 120 × 4000	67	※※※	※※※	その他林産物JAS材
11	大引き	ヒノキ	JAS製材/無等級	105 × 105 × 3050	1	※※※	※※※	助成対象外
88	鉛直構面	ラージ	JAS構造用合板/特類1級C-D	1820 × 910 × 12	140	※※※	※※※	その他林産物JAS材
89	鉛直構面	ラージ	JAS構造用合板/特類1級C-D	1820 × 910 × 12	4	※※※	※※※	その他林産物JAS材
90	プレカット基本料				1式	※※※	※※※	
91	構造材プレカット費				12	※※※	※※※	
92	羽柄材プレカット費				15	※※※	※※※	
93	送料				1式	※※※	※※※	
94	値引き					※※※	※※※	
<b>合 計</b>						※※※	※※※	

・部材名、樹種名を明記してください。

・JASであること、JASの種別や等級を明示してください。  
目視等級については乾燥処理、集成材にあっては断面の種類または断面寸法が必要となります。

・材料ごとの金額と材積を明示してください。

・必要に応じてJAS構造材、その他林産物JAS、助成対象外の区別をご記入下さい。

※調達先が発行した製品ごとの明細は必ず添付してください。





個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
5. 調達費算定表シート (タグ名: 交付申請出力結果)

調達費算定表 (出力結果)								
事業番号		J●●-●●						
申請者名		JAS構造材株式会社						
物件名		全木建事務所 新築工事						
請求書番号		請求書1						
材料の種類	材積 (m <sup>3</sup> )	材料費 (円)	加工費1 (円)	加工費2 (円)	小計 (円)	値引き率	値引き後の金額 (円)	
JAS構造材	機械等級製材 (構造材)	1,8542	193,489	96,037	0	300,859	0.99257	298,622
	目視等級製材 乾燥材 (構造材)	0.5952	53,582	30,828	0	88,048	0.99257	87,393
	枠組壁工法用製材 (構造材)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	直交集成板 (CLT) (構造材)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	集成材 (中断面以上) (構造材)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	構造用LVL (構造材)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
その他林産物JAS	機械等級製材 (非構造材)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	目視等級製材 (その他林産物JAS扱)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	枠組壁工法用製材 (非構造材)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	直交集成板 (CLT) (非構造材)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	集成材 (中断面以上) (非構造材)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	構造用LVL (非構造材)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	目視等級製材 グリーン材	0.6615	52,920	34,262	0	91,225	0.99257	90,546
	造作用製材	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	下地用製材	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	製材 (その他)	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	造作用集成材	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	構造用集成材 (小断面)	6.8680	994,473	355,724	0	1,392,172	0.99257	1,381,824
	構造用LVL	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	構造用パネル	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	構造用合板	3.5773	106,354	0	0	128,217	0.99257	127,264
	普通合板	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
	その他	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
フローリング	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0	
対象外	対象外のJAS材	0.0000	0	0	0	0	0.99257	0
対象外	JAS以外の木材	5.4925	455,841	133,148	320,000	942,557	0.99257	935,551
小計	19.0487	1,856,659	650,000	320,000	2,943,078	-	2,921,200	
請求書番号		請求書2						
材料の種類	材積 (m <sup>3</sup> )	材料費 (円)	加工費1 (円)	加工費2 (円)	小計 (円)	値引き率	値引き後の金額 (円)	
JAS構造材	機械等級製材 (構造材)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	目視等級製材 乾燥材 (構造材)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	枠組壁工法用製材 (構造材)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	直交集成板 (CLT) (構造材)	62.7625	3,619,210	0	0	5,252,791	1.00000	5,252,791
	集成材 (中断面以上) (構造材)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	構造用LVL (構造材)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
その他林産物JAS	機械等級製材 (非構造材)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	目視等級製材 (その他林産物JAS扱)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	枠組壁工法用製材 (非構造材)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	直交集成板 (CLT) (非構造材)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	集成材 (中断面以上) (非構造材)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	構造用LVL (非構造材)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	目視等級製材 グリーン材	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	造作用製材	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	下地用製材	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	製材 (その他)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	造作用集成材	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	構造用集成材 (小断面)	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	構造用LVL	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	構造用パネル	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	構造用合板	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	普通合板	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
	その他	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
フローリング	0.0000	0	0	0	1.00000	0		
対象外	対象外のJAS材	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
対象外	JAS以外の木材	0.0000	0	0	0	1.00000	0	
小計	62.7625	3,619,210	0	0	5,252,791	-	5,252,791	

○助成額 (助成予定額)

対象品目	材積 (m <sup>3</sup> )	材積×単価	調達費
JAS構造材 CLT以外	2,4494	122,470	386,015
JAS構造材 CLT	62,7625	8,786,750	5,252,791
その他林産物JAS イ) 材積	65,2119		
判定 (ア) > イ)	11,1068		
JAS構造材の算定額			5,375,261
その他JASの算定額 (その他JAS×1/2)			799,817
①事業申請時の算定額			9,554,698
②交付申請時の算定額			6,175,078
上限額15,000千円 (延べ面積1,000m <sup>2</sup> 以上、または助成対象の階数4以上の場合は30,000千円)			15,000,000
助成額 (助成予定額)			6,175,000

○材積内訳

材料の種類	材積 (m <sup>3</sup> )	うち国産材材積 (m <sup>3</sup> )
JAS構造材	65.2119	65.2119
その他林産物JAS	11.1068	4.2388
対象外	5.4925	0.0000

○調達費内訳

材料の種類	木材代	加工費	運搬費	値引き	合計
JAS構造材	193,489	96,037	11,332	▲2,237	298,622
目視等級製材 乾燥材 (構造材)	53,582	30,828	3,638	▲655	87,393
枠組壁工法用製材 (構造材)	0	0	0	0	0
直交集成板 (CLT) (構造材)	3,619,210	1,250,000	383,581	▲0	5,252,791
集成材 (中断面以上) (構造材)	0	0	0	0	0
構造用LVL (構造材)	0	0	0	0	0
その他林産物JAS	1,153,747	389,987	67,881	▲11,980	1,599,634
その他林産物JASの1/2	576,874	194,993	33,940	▲5,990	799,817
対象外	455,841	453,148	33,568	▲7,006	935,551
合計	5,475,869	2,220,000	500,000	▲21,878	8,173,991

ここで算定された材積の数値は、「様式6号別紙1(P2~4)」と「様式6号別紙2交付申請額(P6)」に転記してください。

ここで算定された調達費の内訳は、「様式6号別紙2交付申請額(P7)」に転記してください。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

7. 助成対象木材がクリーンウッド法に基づき合法性を証明できる資料

令和3年8月30日 合法伐採証明	
JAS 構造材建設株式会社 東京都千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 6階 代表取締役社長 製材 太郎	・申請者名義で発行してください。
登録番号	・クリーンウッド法の登録木材関連事業であれば登録番号、森林認証の認定取得事業者であれば認証番号、林野庁ガイドラインの団体認定を受けた事業者であれば認定番号を記載してください。
(現場名) で使用した下記木材は合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律に基づき、合法性を確認した木材です。	・合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律に基づく木材であることを明記してください。
木材の明細	・合法性を確認した木材を明示していただくために、樹種、材積、サイズ、数量等を記載してください。

- ・合法伐採証明を発行するには、調達先から発行された合法伐採木材に該当することを示す書面での確認が必要です。
- ・合法伐採木材の確認方法の一つの例として林野庁ガイドラインの団体認定を受けた木材業者が発行する「木材の合法証明」があります。
- ・木材の合法証明については、下記の項目を記載されているか確認してください。
  - ① 認定事業者番号
  - ② 文言で合法性を提示していること (例：下記木材製品は、合法的に伐採された木材のみを原材料としています。)
  - ③ 合法木材が明確に提示されていること。  
→「木材の合法証明」の詳細について、合法木材 Navi (<https://www.goho-wood.jp/>) をご覧ください。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
9. 配置図、平面図、立面図、軸組図及び梁伏せ図等

必要な図面とは、配置図の他、申請物件の助成対象となる JAS 構造材及びその他林産物 JAS 材が種類ごとに明瞭に色分けされた平面図、立面図、軸組図及び梁伏せ図等です。

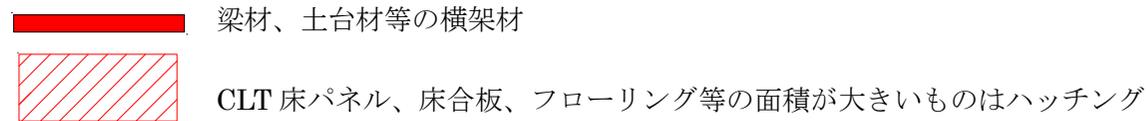
■凡例マーカー

下記に凡例マーカー例を示します。例は赤色ですが、適宜見分けが付きやすいように色分けしてください。

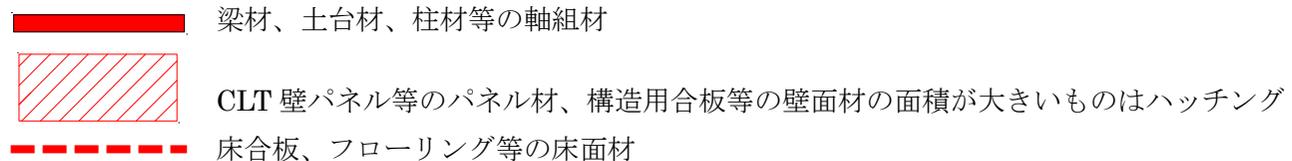
・平面図における凡例



・梁伏せ図、土台伏図等における凡例



・軸組図等における凡例



■材料名の表記

- ・材料名は JAS の種類が分かるように記載してください。

例) JAS 構造材：機械等級製材 スギ E70

- ・目視等級製材を JAS 構造材として申請する場合は、乾燥処理の種類を記入してください。

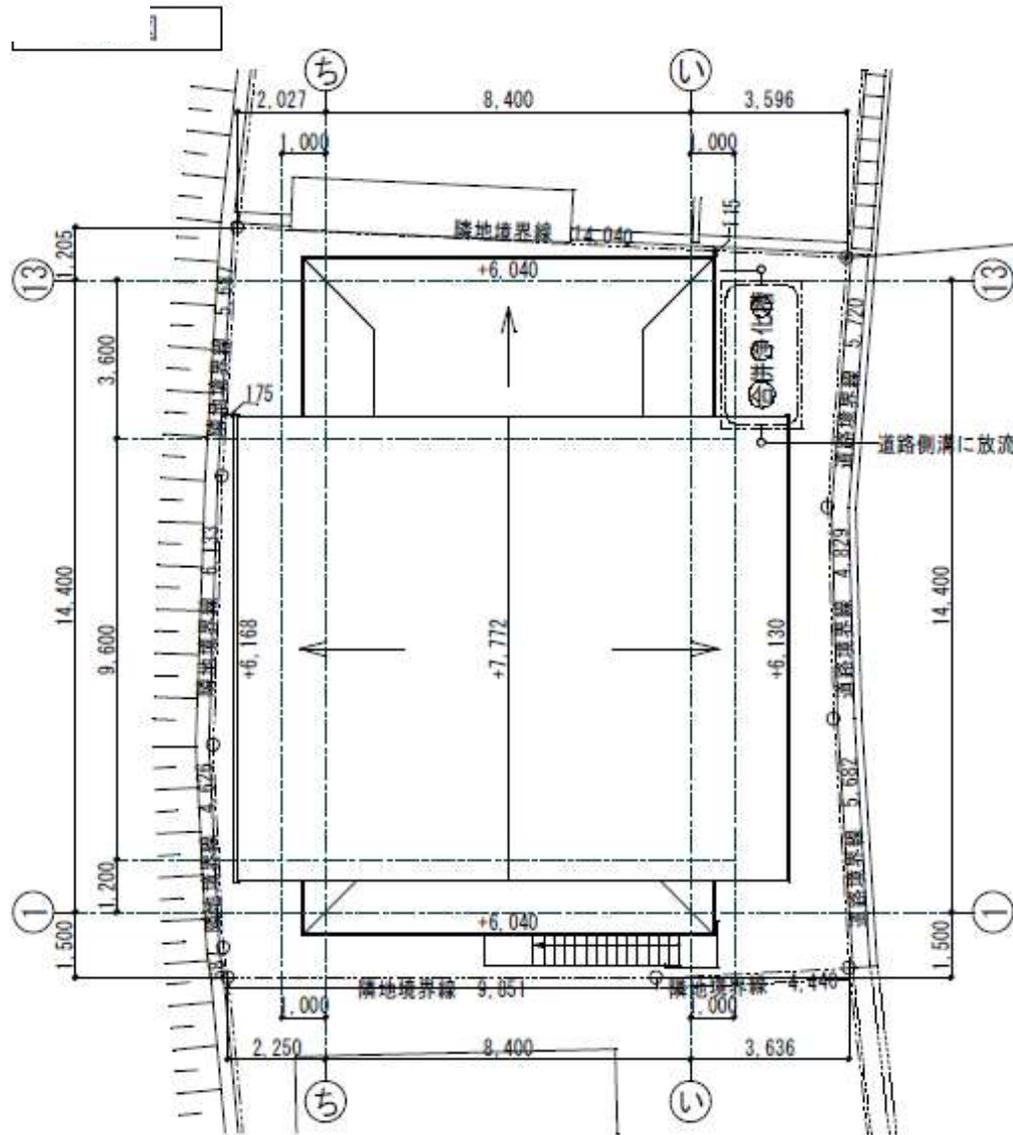
例) JAS 構造材：目視等級製材 スギ甲種 I 級 SD20

- ・構造用集成材は、断面サイズを記入してください。

例) JAS 構造材：スギ構造用集成材 E105-F255 中断面以上

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
 9. 配置図、平面図、立面図、軸組図及び梁伏せ図等

■ <配置図の例>



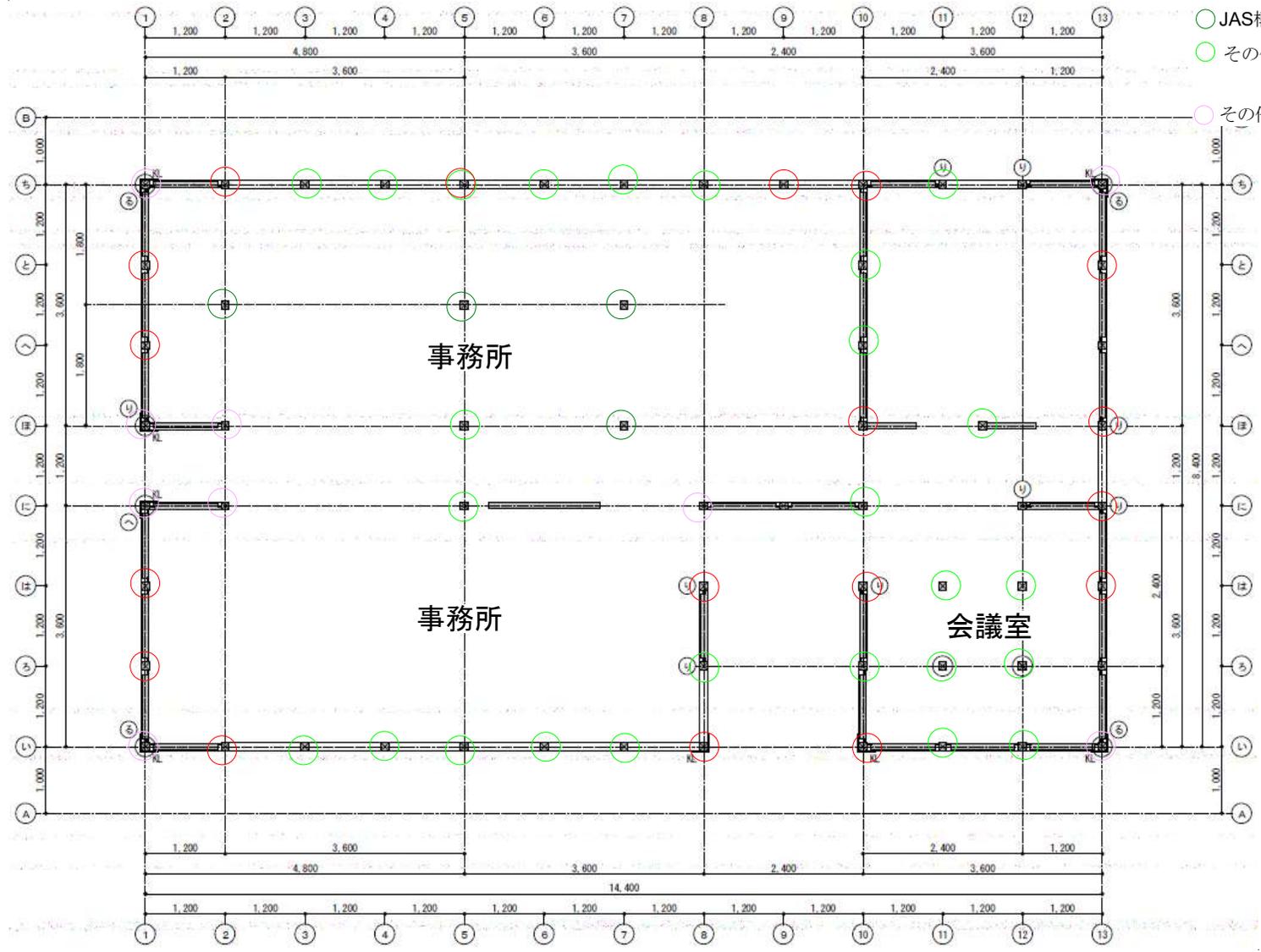
・配置図は、建物と敷地の他、道路の位置、隣地境界線、道路境界線、方角等を記入したものです。



個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
 9. 配置図、平面図、立面図、軸組図及び梁伏せ図等

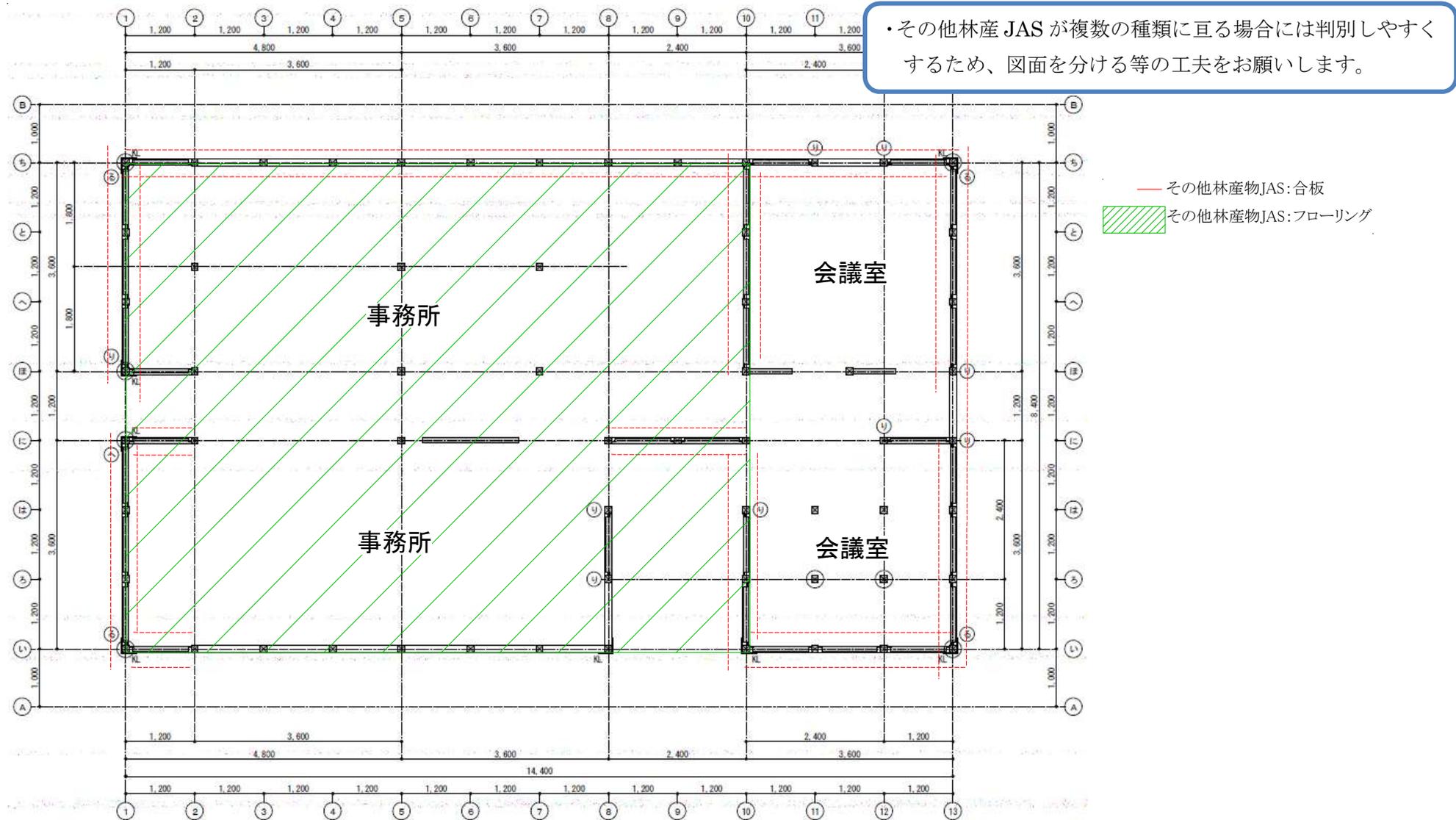
■ <軸組構法 平面図の例> (※枠組壁工法もこれに準ずる)

- JAS構造材：機械等級製材 ヒノキE90
- JAS構造材：目視等級製材 ヒノキ甲種1級 SD20
- その他林産物JAS材：目視等級製材 ヒノキ乙種1級 乾燥処理無し
- その他林産物JAS材：スギ集成材E105-F255 小断面



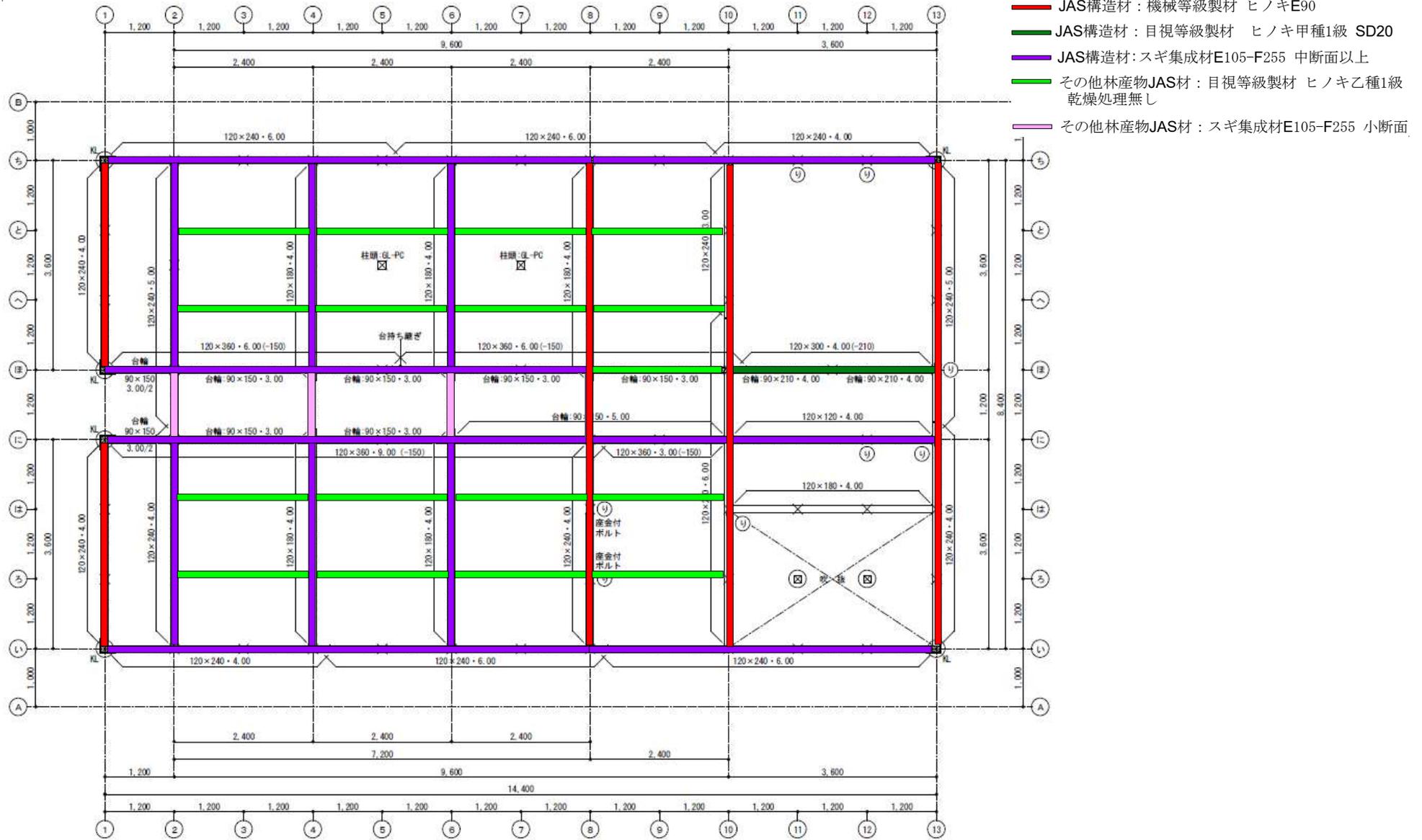
個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
 9. 配置図、平面図、立面図、軸組図及び梁伏せ図等

■ <軸組構法 平面図の例> (※枠組壁工法もこれに準ずる)



個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
 9. 配置図、平面図、立面図、軸組図及び梁伏せ図等

■ <軸組構法 梁伏せ図の例> (※枠組壁工法もこれに準ずる)





個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
 9. 配置図、平面図、立面図、軸組図及び梁伏せ図等

■ <CLT パネル工法 平面図の例>

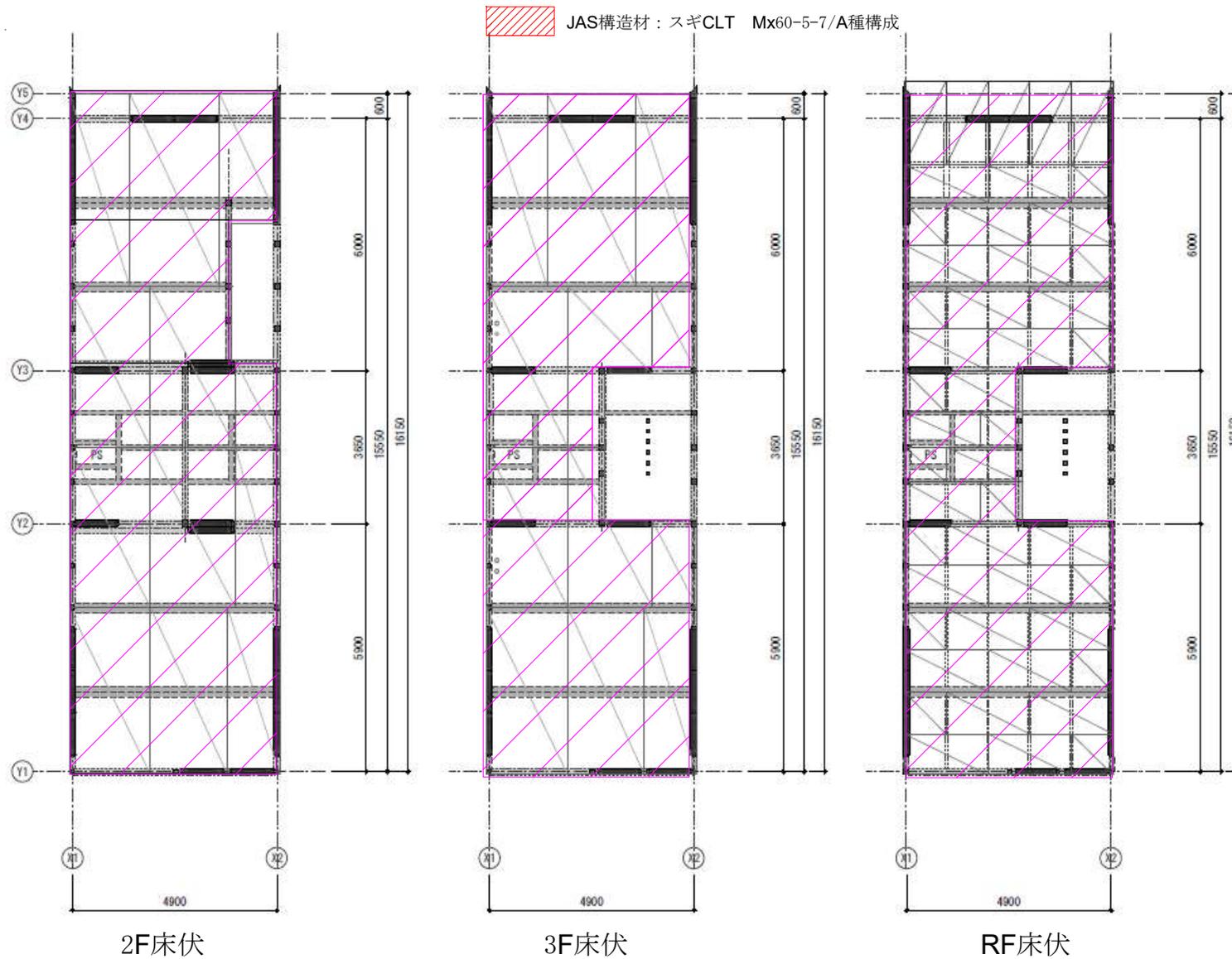
- JAS構造材：スギCLT S60-5-5/A種構成
- JAS構造材：機械等級製材 ヒノキE90
- JAS構造材：目視等級製材 ヒノキ甲種1級 SD20

・CLT パネル工法告示 611 号では、長期荷重のみ負担する軸組材料も併用することが可能であるため、製材や集成材等を併用することが可能です。



個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
9. 配置図、平面図、立面図、軸組図及び梁伏せ図等

■ <CLT パネル工法 床伏図の例>



• CLT の床は、割り付け方法  
が分かるように図示してく  
ださい。

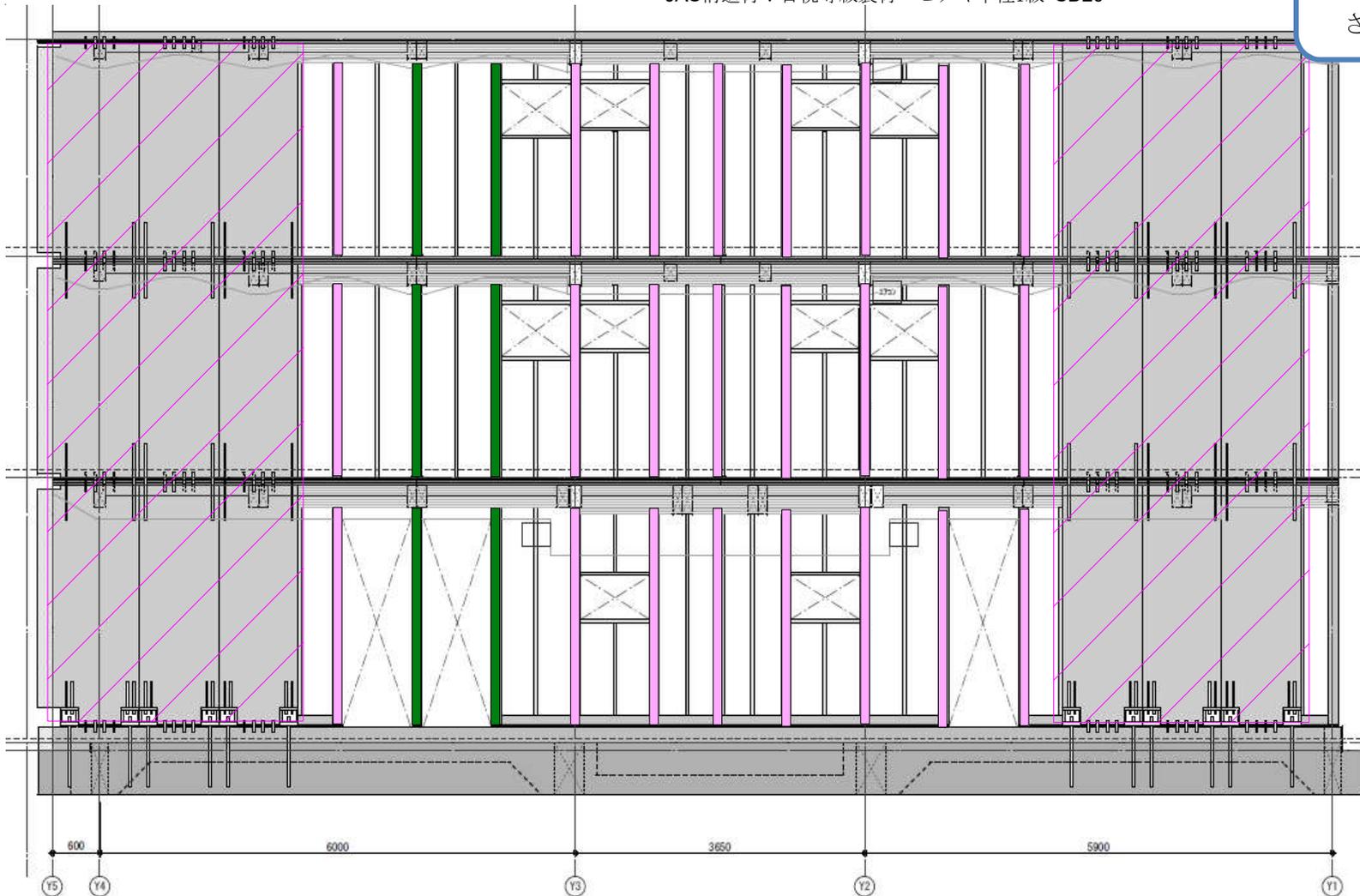
例)

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物  
9. 配置図、平面図、立面図、軸組図及び梁伏せ図等

■ <CLT パネル工法 軸組図の例>

-  JAS構造材：スギCLT S60-5-5/A種構成
-  JAS構造材：機械等級製材 ヒノキE90
-  JAS構造材：目視等級製材 ヒノキ甲種1級 SD20

・CLT の壁は、割り付け方法が分かるように図示してください



## 個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

### 10. 工事記録写真

以下の写真を A4 等にレイアウトしたものの提出が必要となります。(HP に掲載の記録写真撮影の手引きと同じ内容になります。)

- (1) 荷受け検収写真：検収単位ごとに1枚  
(トラックに積んだ状態 or 荷下ろししたもの)



写真4 材料検収写真(CLTの例)

- (2) 施工写真

- ・部材種(柱、梁、壁、床等)ごとに撮影
- ・JASマークのあるものは、アップで撮影



写真5 施工後の写真(CLT耐力壁)



写真6 施工後の写真(トラス材の例)

- (3) 建て方終了後の全景写真を  
2方向1枚以上ずつ



写真7 建て方終了後の全景写真の例

- (4) 助成対象\*のCLT材接合部の写真



写真8 CLT耐力壁下部の引張金物とせん断金物の例



写真9 CLT壁相互のビス接合の例

\*助成対象には、集成材や合板等のその他林産物 JAS も含みます。

個別実証支援事業助成金交付申請書等 提出物

10. 工事記録写真

※写真撮影時の留意点

撮影時には必ず、黒板やホワイトボード等に、下記ア)～エ)を記入し、対象物と一緒に撮影してください。

- ア) 工事名
- イ) 撮影日時
- ウ) 位置
- エ) 部材名称  
(図面と符合させること)

ア) 工事名  
イ) 撮影日時  
ウ) 位置  
エ) 部材名称

撮影は、全ての助成対象を部材の種類ごとにそれぞれ1枚以上必要となります。

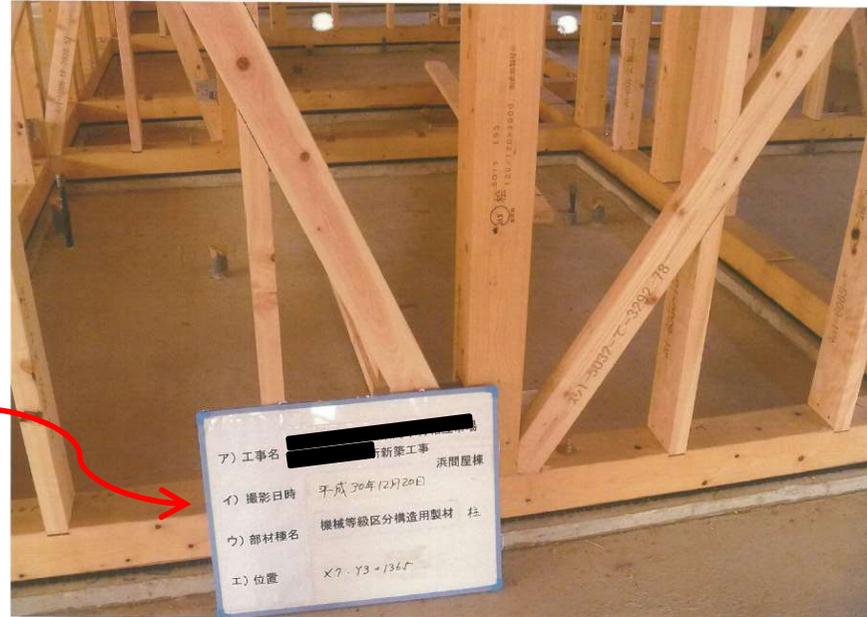


写真10 黒板等と一緒に撮影した場合のイメージ

黒板（ホワイトボード）が必要な写真は以下のとおりです。

撮影個所	黒板あり	黒板なし
荷受け検収写真	○	×
施工写真（部材）	○	×
施工写真（内観）	×	○
建て方完了後の外観	○	○